平成21年度（平成20年度実施）

施　策　評　価　表

京　都　府　南　丹　市
作成日：平成21年5月29日

評価施策名	3　南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる	施策CD	23	施策主管課	農政課	課長名	上田　利之
政策名	第2章　自然・文化・人を活かした郷を創る			施策関係課	農林整備課　日吉産業権建設課　美山産業建設課　農業委員会		

【施策の概要】

1　南丹市が考える理想（目的）

○南丹ブランドの確立と販売を促進する。
○農林業の振興を図る。

目標項目（成果）	単位	H20 目標値	H20 実績値	H21 目標値	H24 目標値
ブランド農林産物の販売額	千万円	129	129	132	138
ブランド農林産物主品目数	品目	35	35	35	41

1　南丹市の現状（課題）

○南丹市は京のブランド産品の産地として高い評価を得ているものの、他産地との差別化を図った「南丹ブランド」としてのブランドイメージの確立には至っていない。
○ブランドイメージの確立とともに、有利に販売するための販路の開拓も課題である。
○農業産出額の年次推移では近年ほぼ横ばいで、平成17年で約51.6億円となっている。販売農家数は、近年減少傾向にあるとともに、、農業者も高齢者の比率が高くなっており、農業生産法人の育成や新規就農者の支援など担い手の確保が課題となっている。

■販売農家数の状況	第2種兼業	第1種兼業	専　業	合　計
平成17年	1,845戸	239戸	438戸	2,522戸

○ほ場整備については、八木地域で整備が必要な所が残っている。また、農道・水路・ため池などで老朽化した施設がある。
○南丹市は広大な森林を有しており、人工林はそのうち約4割の21,604haとなっているが、森林整備が停滞しているとともに、病虫害、野生鳥獣による被害も多発している。さらに、特産の丹波マツタケも松林の害虫被害などにより生産量が激減している。
（現状）・農業産出額　516千万円（平成17年）

2　対策をしなければどうなるのか

○地域間競争に勝ち残れなければ、市内産業の衰退を招き、地域経済が低迷する。
○農林業従事者の高齢化、担い手不足が進行し、農地や森林が荒廃する。
○病虫害や鳥獣被害により、生産意欲が減退する。
○生産基盤の整備や作業の機械化によるコスト削減を図らなければ、生産費に見合う収入が得られず、再生産ができなくなる。

3　それが何故おきたのか

○ライフスタイルの多様化、健康意識やグルメ志向の高まりなどを背景に、食品や地域の物産に対する消費傾向が多様化し、消費者はより安全・安心な食品や嗜好性の高い製品を求めている。
○地域ブランドの確立を図り、消費者にアピールする地域物産が次々と登場し、全国的に地域間競争が激化している。
○農業従事者の高齢化、担い手不足が進行している。
○木材価格の低迷が続いている。
○林業就業者の減少と高齢化により、森林整備が停滞している。
○農林業ともに、病虫害、野生鳥獣による被害も多発している。

4　それらを解決するために何をするのか

①ブランドイメージを確立する。
　・特産品の生産に対する支援、工芸品や工業製品の振興支援、本市の特産品の育成
②特産品の販売を拡大する。
　・市民や全国へのPR活動の実施、販路開拓への支援
③立地を活かした農業の振興を図る。
　・集落営農組織の経営強化と法人化に向けた支援、認定農業者、新規就農者への支援
　・先進的な農産物生産の支援、畜産農家の経営安定化のための支援など
④森林の公益的機能を回復させる。
　・新たな林業従事者の確保と育成、労働条件の改善に向けた支援
　・林道、作業道などの整備、作業の機械化促進支援
　・地元産材を使った家屋の販路開拓、間伐材の利活用、林産物の振興促進
⑤野生鳥獣被害を削減する。
　・捕獲班員の確保と育成、防除施設の設置に対する支援、防除や捕獲に係る相談、指導

【施策コスト】（評価対象事業の合計）

		単位	H19決算	H20決算	H21予算	H22計画
決算額（計画額）		千円	179,942	181,029	144,391	159,346
職員給与費、共済費等		千円	243	0	238	0
財源内訳	使用料・手数料	千円	704	643	450	13,162
	国・府支出金	千円	49,007	57,770	47,698	49,309
	地方債	千円	0	4,800	3,300	4,800
	一般財源	千円	130,231	117,816	92,943	92,075
職員従事人数		人・年	－	5.88	－	－
人件費		千円	－	34,911	－	－
事業費総額		千円	－	215,940	－	－

【構成する事業】

会計CD	事業CD	事業名（細事業名）	担当課	決算額（千円）
106103	7020	米生産調整事業(京の水田農業総合対策事業)	農政課	7,547
106103	6030	担い手育成事業(農業法人等規模拡大支援事業)	農政課	8,856
106104	1030	畜産振興事業(府単費畜産振興事業)	農政課	547
106202	15020	野生鳥獣被害総合対策事業(有害鳥獣防除施設設置事業)	農林整備課	15,247
106103	4000	京野菜等産地育成事業	農政課	1,269
106103	13000	農業・農村活性化経営体づくり事業	農政課	18,742
106104	2000	高病原性鳥インフルエンザ対策事業	農政課	312
106202	15010	野生鳥獣被害総合対策事業(有害鳥獣捕獲対策事業)	農林整備課	41,184
106103	10000	野菜価格補填事業	農政課	6,019
106103	14000	ふるさと共援活動支援事業	農政課	1,000
106102	3010	農業関連施設等管理費(園部農業関連施設管理費)	農政課	4,495
106101	4000	農業者年金事業	農業委員会事務局	522
106103	6040	担い手育成事業(日吉担い手規模拡大支援事業)	日吉産業建設課	568
106103	7010	米生産調整事業(水田協議会事業)	農政課	1,009
106103	12000	土づくり事業	農政課	7,473
106104	1040	畜産振興事業(畜産振興推進事業)	農政課	323
106104	3000	畜産支援事業	農政課	2,767
106202	2010	林道・作業道事業(林道・作業道事業)	農林整備課	23,580
106202	6000	共済・担い手育成事業	農林整備課	15,017
106202	13000	捕獲獣利活用事業	農林整備課	189
106103	1010	農業振興事業(各種団体関係事業)	農政課	15,546
106103	2000	利子助成事業	農政課	1,058
106103	5000	農業・農村を育む女性・高齢者等活動支援事業	農政課	300
106103	6010	担い手育成事業(担い手協議会事業)	農政課	350
106103	11000	特別栽培認証制度推進事業	美山産業建設課	2,790
106104	1020	畜産振興事業(各種団体会費・負担金・補助金)	農政課	40
106202	1050	林業振興事業(林業振興指導事業補助金)	農林整備課	4,000
106202	3000	特用林産振興事業	農林整備課	64
106202	11000	木材利用推進対策事業	農林整備課	215

【総合評価】

①目標の達成状況
　伝統的な京野菜の産地として一定の評価は受けている。しかし亀岡、京丹波町も含んだ「南丹ブランド」のイメージである。
　林業部門においては、広大な森林面積を有しているが、木材価格の低迷、後継者不足で林業経営と呼べるに至っていない。また鳥獣被害も深刻な問題である。

②目標値や施策の考え方の見直し
　京野菜等についてJA生産部会等と連携し面積拡大を図ってきたが伸び悩んでいる。高齢化が進む中、更なる省力化を図る。
　林業従事者の確保と育成

【改善の方向性】

①今後の方向性
　有機質肥料による安全安心農作物の推進
　森林の公益的機能のPR（全国組織として）
　森林組合体制の強化

②各事業の対応
　新規就農支援。集落組織、農業法人に対する集約・省力のための作業の機械化助成
　広域的な野生鳥獣被害対策。　鹿肉利活用

※評価の結果と経過